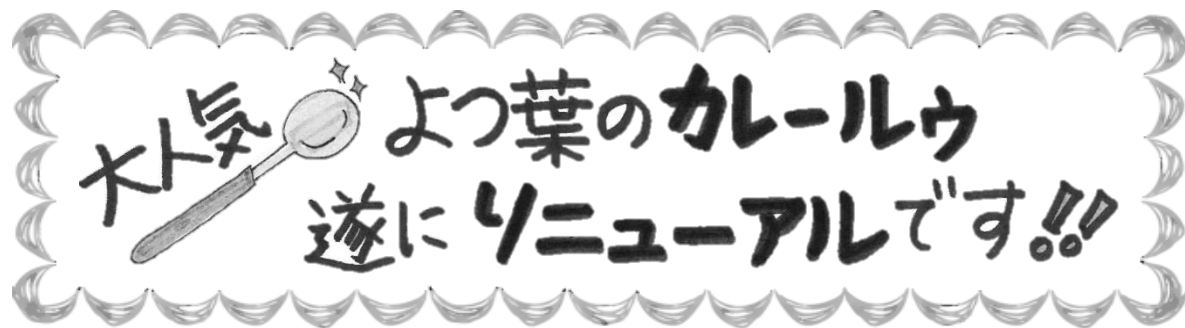


よっ葉だより

2025 年
9月15日号
No.852

～地産地消～
いのちと健康くらしを守る
よっ葉生活協同組合



長年皆様に愛されてきた「よっ葉生協オリジナルカレールウ」がリニューアルして今週登場です！ シンプルでナチュラルな製品であることに変わりありませんが、より一層原材料にこだわりました。

10 年 1 サイクル、とても人気がある商品ですが現状に甘えることなく、さらにおいしいカレールウの追求をした結果、無事に試作や改良を終え、今回皆様にご案内することができました。原材料、味、ともに自信をもっておすすめできる商品です。

よっ葉のカレールウは、カレールウの中ではとても希少な動物性原材料を使わないカレールウです。他生協に紹介したところ、ぜひ取り扱いたいとの声があり、西は関西、東は福島県の生協でも取り扱いされています。よっ葉生協で生まれたこのカレールウは他の地域でも喜ばれ、別の地域でも食卓にあがっています。

そして今回、リニューアルに際して関係者が集まり、チームワークを発揮。よっ葉生協の調味料を長年担当している商品部の栗原職員がアイディアを発起、各方面に声をかけての開発スタートです。リクエストに応えるため試作を繰り返して下さったメーカーの方、よっ葉クッキング委員会での試作、包材のおいしそうなカレーの写真は、実際によっ葉生協本部で調理し、そのまま撮影を行いました。

パッケージも新しく生まれ変わった新しいよっ葉生協オリジナルカレールウ、是非みなさんに手にとって頂きたいです。

「甘口」も一緒にリニューアルしましたので、新しいカレールウの味を楽しんでいただけると嬉しいです。組合員の皆様からの感想をお待ちしています！

(理事長 横山)

よっ葉クッキングカレーも誕生 10 年になり、今よりも美味しく、今よりも良い商品を目指してリニューアルを行いたいと言うご要望を生協様から頂きました。要望の最重要であり、最難関のテーマとして、ときどき組合員様から問合せがある原料「酵母エキス」を使わないでカレールウを作って欲しいと言う難題を頂きました。カレールウとはルウの 5 倍の水を加えて調理するものです。逆に言えば美味しいカレーの 5 倍の旨みがルウに凝縮されていなければなりません。社内で試作を重ね、出来上がったルウの味を生協様と確認。評価を持ち帰り再試作を行い、再び生協様と味の確認。これを半年繰り返し、やっと満足出来る美味しさにたどり着きました。生協、製造メーカーが一体となり、自信を持ってお勧めできるカレールウの完成です。

(東京フード株式会社 製造・販売管理部次長 小林さん)

いつも「よっ葉のカレールウ」をご利用頂き、ありがとうございます。

組合員様の声から生まれたオリジナルカレールウも今年で 10 年目を迎えました。そこで、これを機にリニューアルの案が出ました。第一の目的は以前より組合員様からもお声を頂いていた「酵母エキス」を抜くことでした。開発者の東京フードさんには大変なご無理をさせていただきましたが、この度、やっと完成しました。長年の間、皆様に愛されてきた味はそのままに、新たに「よっ葉のソース」を加え、コクと旨みがアップ！甘口も同様にさらにマイルド感が増し、幼少期のお子様にもおすすめです。どうぞ、ご賞味下さい。

(商品部 栗原)

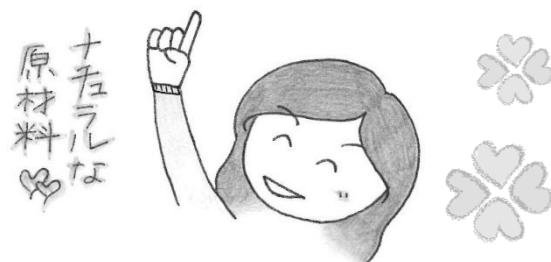


<新> よっ葉のカレールウ 原材料

小麦粉（小麦（栃木県産））、パーム油、砂糖、カレー粉、食塩、発酵調味料、ソース、粉末野菜（オニオン、有機トマト、ガーリック、キャロット）、菜種油

<新> よっ葉のカレールウ甘口 原材料

小麦粉（小麦（栃木県産））、パーム油、砂糖、カレー粉、食塩、発酵調味料、りんご果汁、粉末野菜（オニオン、有機トマト、ガーリック、キャロット）、菜種油、ソース



戦争の話

戦後 80 年を迎え、よつ葉だより No.842(6/30 号)で組合員の皆様に、「戦争の話」を募集しました。寄せていただいたお話を掲載します。

一昨年に亡くなった父が亡くなる 2〜3 ヶ月前に、初めて戦争時のことを話しました。

当時、父は埼玉の田舎に住む小学生でした。広い畑の中の田んぼ道を友だちと下校中にアメリカ軍の飛行機が飛んできて、父達に向けて機銃掃射をしてきたそうです。父達は慌てて田んぼに伏せたそうです。

私が「子供だってわからず射撃してきたのかな？」と言うと、父は「そんな事はない、子供とわかっていて。低空飛行で近くから撃ってきてるんだから。」と怒り声で、声が震えていました。そして「戦争っていうのは、大人も子供も関係なくなっちゃうんだよ」とも言っていました。

私も近年の他国の戦争をニュースなどで見聞きして、いざ戦争が始まってしまえば、きれい事は通用しないんだと実感しています。

(A. A さん)

群馬県下仁田町の友人のお爺さんのお宅へ、梅林のなかの養蜂の様子を見にお邪魔したときに伺ったお話です。

お爺さんは、神風特攻隊員として徴兵されました。隊員たちは未成年の子も多く、出陣の前にはお酒を飲むことができ、自分の気持ちをごまかすため、みな、浴びるほど飲んで酔っ払ったといいます。

「帰りの燃料はないんだもの。死にに行くんだとわかっていながら行かなきゃなんない。出発するとき、お国のために、なんて口にするやつはひとりもないよ。み〜んな、お母さんのこと。母ちゃんごめん。母ちゃんに会いたい。母ちゃんのもとへ帰る。そう言って飛んでった。」

お爺さんの飛行機はフィリピン沖で墜落。海面にも、海中にも、仲間の遺体や飛行機の破片が漂い、死んでいる者も生きている者もサメに食われていったといいます。お爺さんもサメに気付かれないう、傷口からの出血を自分の口で吸いながら必死に泳いで泳いで飛行機の破片にたどり着き、その後捕虜になったそうです。

お爺さんの部隊の仲間たちは、生きて帰ってこられなかったと…

そのときのお顔を見ていたら、お爺さんの気持ちや、細かい出来事など、それ以上のことは聞くことができませんでした。

「帰ってきてくれてありがとう、話してくれてありがとう」私にはそれしか言えませんでした。

私たちのような戦争を体験していない世代には到底想像に及ばないような壮絶な体験をなさっている年代の方にお話を聞くことができたこと、また、よつ葉さんでも戦争体験を記録しておくことに取り組んでいただけたこと、とてもうれしく思い寄稿させていただきました。神風特攻隊のお爺さんのお話、お役に立てましたらうれしいです。

(岡田さん)

私の母は昭和 17 年東京生まれ。生後すぐに家族 5 人で伊豆大島に疎開しました。私が幼いころ、祖母は私に「15 年も戦争をしてたのよ」と愚痴の様に度々言い、「こんな戦争、勝つはずないのに」と言ってお近所さんに慌てて咎められた話も何度か聞きました。

教員だった祖父は、伊豆大島の小学校に校長として赴任しました。私が高校生の頃、祖父がふいに戦時中の思い出を語りました。毎年一度、御真影（天皇の肖像写真）を持って東京に出張に行かなくてはならなかった。港で船に乗るのに、はしけ（沖に停泊している船まで運ぶ小舟）を使うがとても揺れるので、桟橋からはしけに渡してある板切れを渡るのも、はしけから船に梯子で乗る時も、大きな御真影を抱えてとても緊張した、と笑いながら話してくれました。はしけの怖さは母からも聞いていたので、「大変だったねえ」と私も少し笑いました。

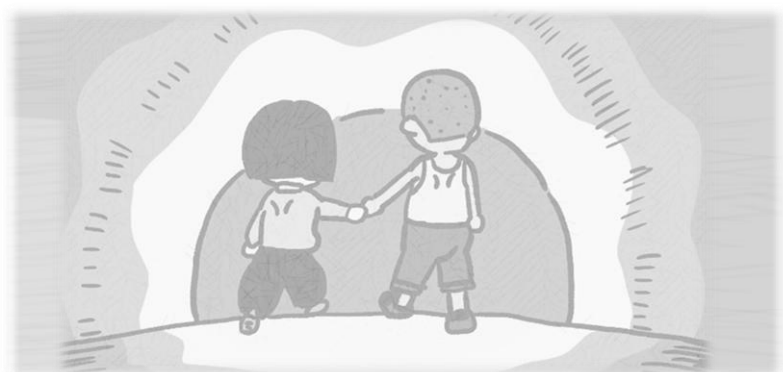
5、6 年前に、戦時中の小・中学校に通われた方のお話を聞く集まりに参加しました。ある日学校に将校が来て、黒板に「鴻毛」と書き、「お前たちの命は鳥の羽のように軽いのだ」と言われた思い出や、「御真影」についてもお話されました。「ああ、おじいちゃんが話していたな」と思いながら聞いていたのですが、「近くの学校で御真影が火事で焼けてしまったんです。その学校の校長は自殺しました」と聞いた時、祖父が笑いながら話してくれた話の恐ろしさに、しばし凍り付きました。写真よりも、鳥の羽よりも、人々の命が軽くなるのが戦争なのだと思います。

(M. H さん)

母方の大叔父にシベリア抑留の生還者がいます。学生時代、大叔父が執筆した手記を読みました。少しロシア語が話せたので最初の抑留地で翻訳の仕事をあてがわれたのですが、その事務所で働いていた数名のロシア人（民間人）にとっても助けられました。残虐なシベリア抑留を行ったソビエト連邦と言う国家、そして大叔父を救ったロシア人たち。大叔父はロシアの辺境に住む人々の温かさ、知的さ、文化の豊かさを書いています。国家が持つ残虐さをその国民の多くは持たないのだと強く感じました。ではなぜ国家が残虐になるのか、ならない為にはどうすればよいのか、考え続けたいと思います。

25 年前北欧のとある学校で 4 か月間ともに学び生活した、ロシアとウクライナの友人を想っています。

(M. H さん)



とちぎ消費者ネットワークからのお知らせ

独立行政法人国民消費生活センターでは、「見守り新鮮情報」として、いま起きている「高齢者・障がい者」、「子ども・若者」に関わる悪質商法や製品による事故について注意喚起を行っています。ゲリラ豪雨や酷暑がつづく中、時々耳にする「通電火災」と「リチウムイオン電池による事故」についての HP 掲載のリーフレットをご紹介します。 <https://www.kokusen.go.jp/mimamori/index.html>

見守り新鮮情報

<災害による停電発生時>

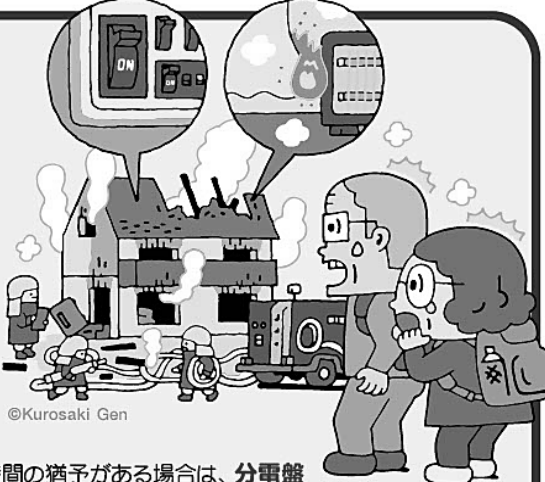
- 停電復旧時に意図しない作動を防ぐため、特にヒーターを内蔵した電気ストーブなどの電熱器具は、電源プラグをコンセントから抜きましょう。
- 自宅から避難する際に時間の猶予がある場合は、分電盤のブレーカーを切りましょう。

<停電復旧時>

- 浸水などの被害を免れた電気機器を使う際は、機器の外観に異常がないか、電源プラグやコードに損傷はないかなどを確認してから分電盤のブレーカーを入れ、機器の電源プラグを1台ずつコンセントに差し、様子を確認しながら使用しましょう。

<日ごろからの備え>

- 電気ストーブやヒーター類などの電熱器具の周辺に可燃物を置かないようにしましょう。
- 地震発生時などに可燃物が散乱しないよう家具は固定しましょう。



©Kurosaki Gen

地震や台風… 停電復旧後の 通電火災に注意

ひとこと助言



注意しよう

見守るくん

- 地震や台風などの自然災害による停電後、電気が復旧したことにより発生する火災を通電火災といいます。
- 通電火災は、停電後の電気の復旧時に、電気ストーブなどの電熱器具が意図せず作動し、可燃物と接触して起こる場合や、水没したり損傷したりした電気機器に電気が流れることで発生する場合などがあります。

本文イラスト：黒崎 玄

見守り新鮮情報 第518号（2025年8月21日）発行：独立行政法人国民消費生活センター

見守り新鮮情報

事例1

約3年前にネット通販で購入した、リチウムイオン電池を使用した自転車用ライトが、走行中に突然爆発し、腹部にやけどを負った。（70歳代）

事例2

スマホ用のモバイルバッテリーがすごく膨らんできていて怖い。廃棄したいが危険性もあるかもしれない。どこに廃棄すべきか。（60歳代）



©Kurosaki Gen

リチウムイオン電池の 膨張、発煙・発火に注意

ひとこと助言

注意しつつ
使用しよう



見守るくん

- リチウムイオン電池は小型大容量、繰り返し使用が可能などの利点から、モバイルバッテリーやワイヤレスイヤホン・スピーカーなど、身の回りの様々な商品に搭載されています。しかし便利な一方で電池の発煙・発火事故も発生しています。
- 製造・販売元や型番が明示されていない商品や、仕様が不明確な商品を購入するのは避けましょう。充電器やモバイルバッテリーは、PSEマークの表示を確認しましょう。
- 充電の際は適切な充電器を使用し、もし充電端子が過熱したり異臭がした際は直ちに使用を中止しましょう。
- 落下などで電池に衝撃が加わると、発煙・発火を伴う事故につながる可能性も考えられます。持ち運びや保管の際は取り扱いに注意し、電池に膨張がみられたら使用を控えましょう。
- 廃棄する際は、必ず自治体の分別ルールに従いましょう。取り外し可能なバッテリー等は販売店でリサイクル回収してくれる場合もあります。

本文イラスト：黒崎 玄

見守り新鮮情報 第514号（2025年6月19日）発行：独立行政法人国民消費生活センター

報告◇マクロビオティック料理教室

8月21日 宇都宮市雀宮地区市民センター調理室



よつ葉生協の食材を使って動物性食品（肉、魚、卵、乳製品を含む）と砂糖を使わないマクロビオティック料理を作りました。宇都宮南委員会の委員でもある永井恵美さんに講師をお願いしました。

今回のメニューは、「とうもろこしご飯」「焼きなすの香味だれ」「重ね煮でつくるラタトゥイユ」の3品を教えてくださいました。

始めにマクロビオティックの基本の一つ、「陰陽の調和」について、野菜の切り方や調味料、調理器具の選び方、そして季節や体調に合わせての調理方法などのお話を交えながら調理工程の説明を受け、各テーブルで調理スタート!!

どのメニューもこの時期にぴったりの簡単調理です。そして調味料も塩、しょうゆ、酢とシンプルですが、ご飯は土鍋を使用しゆっくりと炊き込み、ラタトゥイユは厚手の鍋で、野菜から出る水分と塩のみで調理、素材の味をしっかりと味わえる逸品となりました。

参加者からは、素材の味・うまみが出ていてとても美味しかった書いていただきました。

次年度も企画予定ですので、ぜひ参加してください。

（宇都宮南委員会 江原）



報告◇子供も！大人も！

パステルアート体験会

8月22日 稲村公民館



赤青黄の3色から描く、パステル画の世界を楽しまれて、皆さん満員御礼のご参加で賑やかな開催となりました。

皆さんの素敵な作品が溢れていました。

（那須塩原委員会 矢島）

伊勢崎 健康セミナーのご案内 ～シックハウスコンサルタントから学ぶ～

住まいの中の化学物質とその対策

講師：濱田 ゆかり（（有）ひと・環境計画代表 一級建築士
シックハウスコンサルタント）

人と環境に負荷をかけない建材の研究を続けながらシックハウス・化学物質過敏症の方の住まいの改修・設計を行っています。

日時：10月18日（土）13：30～15：30

会場：「伊勢崎市 緋の郷」 円形交流館
（群馬県伊勢崎市昭和町 1712-2）

参加費：1000 円（含資料代）

定員：50 名 お申し込み先着順

申込み・問合せ：『ぐんまピピネットワーク』

代表服部 0270-21-8245

＼よつ葉生協のサークルです！／

シックハウス症候群を知っていますか？

ある日突然発症してしまった人達は、辛い生活を余儀なくされています。健康な生活を営むには正しい知識が必要です。シックハウスコンサルタントのお話を参考に一緒に考えてみませんか。

＜主な症状＞

頭痛・めまい・倦怠感・目のチカチカ・涙・鼻汁・くしゃみ
喉のイガイガ・吐き気・咳・たん等

『ぐんまピピネットワーク』では、化学物質過敏症、電磁波過敏症について、毎月第四（土）に学習会を行っています。
是非ご参加ください。

※会場内でのお願い

・香りに敏感な方がいます。ご配慮ください。

・電磁波に過敏な方がいます。携帯電話やスマホの電源をお切りください。

組合員さんの声

NO. 845 よつ葉だよりに「おばあちゃんの詩」城間くんの詩をのせて下さってありがとうございます！

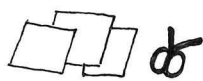
TVで式典を拝見し、とても心に残り涙しました。
戦後80年、このおばあちゃんのような多くの方の苦しみを改めて忘れてはならないと強く心に誓いました。



（上三川地区 N・Mさん）

「ふみさんの日々のカンタン！ おやつ作り」のレシピはシンプルで材料で作れるので重宝してます。

美味しくて体にも優しいおやつなので安心です。手書きのレシピも可愛いので切り取って保存してます。



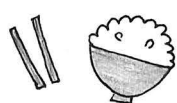
（佐野地区 A・Tさん）

ありがとうございます。

今後も不定期で紹介していきます。

よつ葉だより NO. 848 大島農園さんの黒いお米（斑点米）はカメムシが吸った跡だけれど食べても全く無害、味も変わらないうことを初めて知って良かった。今年は栃木県はカメムシ対策に農薬を増やして品質を守るって公言していたので、それはやめてほしいと思っていた。やめてくれ。

「食料安全～を考える」もナカナカな内容を掲載しているところがスゴイ。



〇〇

（宇都宮地区 M・Sさん）

ご意見・ご感想をお寄せください。お名前と組合員番号をご記入の上、共同購入注文書またはお手紙でお願いします。掲載の方には粗品をプレゼントいたします。※掲載するにあたって事前ご連絡をすることはありませんので、ご了承ください。

国勢調査 2025

【10月1日】

5年に一度、全員参加の統計調査

国勢調査は
スマホで回答が
かんたん・便利！



国勢調査2025キャンペーンサイト
https://www.cscs2025.jp/

国勢調査2025

国勢調査へのご協力をお願いします

東日本大震災・東電原発事故での支援金 募金報告（9月1週分）

ご協力ありがとうございます。

組合員さんの温かいお気持ちが今週も寄せられています（単位：円）

放射能から子どもを守る募金（900番）	3,900
震災孤児を支援する募金（910番）	16,400
「有機農業と国産種子」募金（920番）	8,900
合 計	29,200

共同購入注文書裏の「10品以上の記入欄」に該当番号と数量をご記入ください。
WEB注文の場合は、左側「企画商品・募金」内の「募金関連」をクリック。
一口100円の募金になります。

●編集・発行よつ葉生活協同組合 小山市栗宮 1223

☎0120-07-1613 TEL 0285-45-9100 FAX 0285-45-9101

HP <https://yotsubacoop.jp/>

よつ葉だよりメールアドレス yotsubadayori@yotsuba-coop.jp



ホームページ



Facebook



Instagram